

講義名	経営情報システム論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	赤川 元昭		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	13044

主題と概要

コンピュータに代表される情報技術の進歩は目覚しく、20世紀後半以降、われわれの社会を大きく変革してゆく原動力となっている。経営情報システム論では、学生が情報技術に関する基本的な知識を身につけることを目的とする。また、講義内容を具体的に理解しやすいものにするため、ビデオなどの視聴覚教材をできる限り利用する予定である。

なお、後期開講の「経営情報論」を受講しようと考えている学生は、できる限り、この「経営情報システム論」を先に受講することが望ましい。

到達目標

・情報化時代を生きる社会人として、最低限必要な情報技術に関する知識を身につける（たとえば、ごく基礎的な情報技術用語を説明することができる）。

提出課題

講義時間中に、小テストやアンケート等を複数回実施する。

評価の基準

・小テスト、アンケート、期末試験などをもとに総合的に評価する。
 ・評価の配分は、期末試験が約90%、小テストおよびアンケート等が約10%である。
 ・ここ数年では、合格者の割合は70%程度、平均点は約70点である。

履修にあたっての注意・助言他

ごく当たり前のことだが、他の受講生に迷惑をかけるような行為（私語など）は慎むこと。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

参考文献
 「経営情報システム(第4版)」 宮川公男著 中央経済社
 「栢木先生のITパスポート教室」 栢木厚著 技術評論社

授業計画

- 1 はじめに：この講義の概要
- 2 情報化時代、情報化社会
- 3~5 ハードウェア
- 6 ソフトウェア
- 7 情報処理方式
- 8 ビットとバイト 情報処理の単位
- 9 日本語処理
- 10~13 マルチメディア
- 14 ネットワーク
- 15 情報技術とその社会的インパクト

予習・復習

予習は特に必要ではないが、復習については、講義ノートをもう一度読み返す程度でも、ぐっと理解度が深まるはずである。

備考